

12月 定例教育委員会会議録

- | | | | |
|---|------|--|----------------------------|
| 1 | 日 時 | 平成 29 年 12 月 22 日 (金) | 午後 3 時 00 分から午後 3 時 55 分まで |
| 2 | 会 場 | 豊浜交流センター会議室 | |
| 3 | 出席者 | 村松啓至教育長
青島美子委員 杉本憲司委員 秋元富敏委員 鈴木好美委員 | |
| 4 | 出席職員 | 教育部長 教育総務課長 学校給食課長 学校教育課長 中央図書館長
文化財課長 地域づくり応援課長 幼稚園保育園課長 児童青少年政策室長 | |
| 5 | 傍聴人 | 0人 | |

(進行委員：秋元富敏委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

豊浜交流センター視察及び地域づくり協議会の研修に引き続き、第9回定例教育委員会に御参集いただきましてありがとうございます。豊浜交流センターに集まっていたいで、伊藤センター長のお話を聞き、教育委員会研修が大変充実したものになったと思います。地域づくりの要となって動き出している地域づくり協議会や、その拠点となる交流センターについて学ぶ機会となったと思います。準備も本当に一生懸命やっていたいで、私も分からないところもありましたが、中身が見えてきたのではないかなと思います。

前回、体を通した体験や経験が人間的な「つながり」や「かかわり」をつくり、それが社会構成の基本となっていくこと、これからの時代それを大切にしたいことについて、お話し申し上げました。AI、人工知能が発達する昨今、特に人間とは何か、人間的な「つながり」や「かかわり」とは一体何なのか、重ねてそれを考えつつ大切にしていきたいと思います。やはり人工知能がすごく進歩を遂げてきました。これは急激なことです。最近の新聞報道でも御案内のようにスズキ、遠州鉄道が協力をして、浜松市で自動運転を行うことが報道されました。また、東京オリンピックまでには、自動運転の車両が動き回るようになる時代へと変化していくことを感じています。

それからEV化の流れもものすごい早さです。日本がどこまで、どれだけそこについていけるか、大きな、これからの経済的な問題を含めて大切なことだなと思います。これまでの歴史の中でも実はかなり大きな転換点であると思います。私ども日本人を取り巻く環境、生活が一変していきます。その中で、教育の本質を見失わないように、実践を積み重ねていきたいものです。

教育の本質と言いますと、最初の頭に浮かぶ言葉は、「愛語」です。先日、北京から訪問していただいた中国房山区の皆様方にお話をした内容です。道元の教えを表した修証義にある「愛語廻轉の力をよく学ぶべきなり」にあるように、慈しみの心を持って、心から支える、導く姿勢を持ちたいと考えています。これも道元の教えの一つですが、只管(しかん)という考え方があります。「ただひたすら」という意味をもっているようです。邪心を捨てて只ひたすら没頭する姿を表しているかもしれません。これも教育の本質にかかわって、人間の在り方を示してくれているかもしれません。年度末に当たり、すべてに感謝しつつ、じっくりと本当のもの、本質的なものを自分自身の中に呼び戻すことが必要かもしれません。今年最後の定例教育委員会になりますが、よろしくお願ひします。

3 前回議事録の承認

11月28日定例教育委員会

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

11月市議会定例会について報告をします。11月24日から12月19日の26日間の会期の議事が終了しました。上程されました条例の改正、補正予算など26議案は全て原案どおり可決されました。代表質問等につきましては6会派から、教育関係では5会派から質問が出されました。

なお、こども図書館については教育長答弁でなく市長答弁ということで答弁をしました。特にこども図書館の所管部署という部分ですが、新しいコンセプトを持つ施設が新設されること、それから子育て支援、相談機能の充実がこれから大きな課題であることを踏まえ、主たる所管部署は子育て全般を所管するこども部とする考えです。今回の議会で所管の方向性が示されたということですので、御承知いただきたいと思います。主たる所管がこども部となりますが、図書館機能は残りますので、連携をしながらこの機能をさらに高めていきたいと思っています。

<質疑・意見>

なし

5 議事

(1) 議案第69号 学校(園)医の委嘱について

今年度の学校(園)医については、昨年度末3月の定例会の中で本年度の学校(園)医について承認いただきましたが、磐田南小、磐田南幼稚園並びに、長野小、長野幼稚園の学校医であった横井医師が一身上の御都合で病院を閉鎖されました。その関係で急遽、ふじた眼科の藤田医師、福田眼科の福田医師に両小学校、幼稚園の校医になっていただきたく医師会等と相談し、お願いすることになりました。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第69号は原案どおり承認された。

(2) 議案第70号 磐田市文化財保護審議会委員の委嘱について

5月の定例教育委員会で御審議いただき、了承いただいたところですが、委嘱を予定しておりました小和田美智子委員がお亡くなりになりました。近世史を専門分野とする委員が一人減の状態となっていたことから、新たに、西田かほるさんを委員に委嘱したいと考えています。

西田さんは静岡文化芸術大学の教授で文化政策学部国際文化学科長として御活躍しています。専門は日本近代史で、宗教者及び芸能的宗教者の身分形成を主な研究テーマとしており、三遠南信地域の宗教者についての研究を行っています。また、磐田市歴史文書館を学生の実習の場に活用する

など磐田市とのかかわりを持っていただいています。任期につきましては他の委員と同様に平成 31 年 5 月 31 日までと考えています。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 70 号は原案どおり承認された。

6 報告事項

(1) 地域づくり応援課

1 月 7 日に成人式がありますので委員の皆様方、よろしくお祈りします。

地域づくり応援課の所管になりまして最初の成人式になりますが、例年同様の開催場所、開催の仕方で行います。ただ今後、時代の変化に合わせてやり方を少し工夫していこうかなと思っていますが、本年度は従来どおりにやりますので、よろしくお祈りします。

<質疑・意見>

なし

(2) 幼稚園保育園課

<質疑・意見>

なし

(3) 教育総務課

「就学援助費支給要綱の改正について」です。就学援助制度における新入学児童生徒、学用品費の入学予定者に対する支給を入学前に、入学予定者に対して支給することを可能とするため、その事務に関する所要の改正をするものです。様式の改正部分は、申請様式に「本人振込口座」の項目を追加し、本人同意欄に「校納金に未納があった際の学校長への委任」の文言を追加することで、申請の簡略化と校納金未納対策、また、学校事務の負担軽減を図るものです。支給日は、新小学 1 年生は 3 月中旬、新中学 1 年生は 1 月中旬を予定しています。

予算への影響としては、11 月補正予算額で小学校費 3,341 千円、中学校費 8,019 千円のうち、前倒し支給分として小学校費 3,207 千円、中学校費 4,361 千円となります。これまで入学後支給であった部分を前倒しするため、29 年度単年では増額となりますが、平成 30 年度以降は従前と同様の予算規模となります。施行期日は公示の日からです。

就学援助事務説明会ですが、前倒し支給の関係で事務の手続が変わりますので、学校現場に混乱のないように配慮して実施したものです。

次に、「第 1 回学校事務ミニマムスタンダード化検討会について」ですが、小中学校に新規採用の事務職員が配置された場合や、人事異動があってもスムーズに業務が遂行できるよう、事務の標準化などに関する検討会を行いました。

検討会では主に学府から一人ずつ出席していただき、他には県の事務職員も出席していただき、課題について事前に提出してもらったアンケートをもとに一人ずつ現場での思いを話してもらいながら事務局としての考えをお伝えしました。

今後の予定につきましては、校納金関係のシステムや様式、文書やデータの管理方法などについて統一化を図り、負担感の大きい保護者への未納対策については既存のマニュアルの見直しの他、効果的な方法を検討していきたいと考えています。この検討会は2カ月に1回定期的に開催して、31年度には目に見える形にしていきたいと考えています。

○教育総務課（児童青少年政策室）

1月に青少年健全育成大会が予定されています。この開催について説明します。

開催場所はアミューズ豊田ゆやホールで、日時は平成30年1月27日土曜日、午後1時30分にスタートです。この大会は昨年度までは青少年健全育成会連合会の主催大会でしたが、連合会が解散しましたので、本年度からは市の主催大会としています。

内容につきましては、子供・若者政策懇話会の中で市長、教育長それから懇話会委員の皆さんでお話し合いをいただいた結果、市長がファシリテーターで懇話会委員の皆さんがパネラーというパネルディスカッションで、これからの青少年健全育成のあり方についてディスカッションを行うこととしています。懇話会の委員の皆様には、長年にわたります健全育成の各分野での活動を通じて感じたこと、苦労したこと、今後の課題、方策について来場者の皆さんにも投げかけるような形で率直な御意見をいただきたいと思っています。その上で市長からも御自身の考えを述べていただきまして、来場者からも御意見をいただくようなそういった会にできればと思っています。

大会への参加は各地域づくり協議会の皆さんや交流センター長、それから民生委員さんや学校への関係者などに呼びかけています。教育委員の皆様もお忙しいとは思いますが、御参加くださいますようよろしくお願いいたします。

<質疑・意見>

○校長会へ連絡してありますか。

○各校で1名参加をお願いしたいという案内を学校にしてあります。

○各校1名と校長だと、多くなり過ぎますか。入れない可能性があるということですか。

○ゆやホールは300人強のキャパで、呼び掛けた皆さんがいらっしゃると上限になってしまいます。

○健全育成の基本的な考え方が出るシーンなので、それを聞かないのはちょっと。もう一回校長会でやらねばならないとなると大変です。

○校長先生の方がふさわしければその方向性で修正したいと思います。

○ちょっと心配なところがあります。誰でもいい、参加すればいいという、そういう会合ではないことを学校は承知しておかねばならないと思います。

(4) 学校給食課

<質疑・意見>

なし

(5) 学校教育課

<質疑・意見>

なし

(6) 中央図書館

<質疑・意見>

なし

(7) 文化財課

獅子ヶ鼻公園で石仏が全部で 88 体出てきた件ですが、今日 S B S テレビが取材に入りました。今日の 6 時 15 分頃に放送されます。可能でしたら、後ほど見ていただければと思います。

予定事業ですが、歴史文書館第 20 回企画展「遠州の俳諧～野口在色三百回忌を迎えて」を企画しました。野口在色氏は磐田市の草崎出身で、そのお弟子で加藤知碩は豊浜の出身ということです。この地域は俳諧で多くの方が関係していて、そういうところを織りまぜて展示していきたいと考えています。今回の企画については竜洋支所での展示となりますが、2月4日にいわた俳句大会が開催され、全国から俳句を募集してという大会です。

それからもう 1 点、「祭りの明日を考える」のご案内をします。先ほど交流センターの話の中でも、なかなか祭りの屋台を継ぐ人が少なくなっているというお話が出ましたが、まさにそれに焦点を当てたシンポジウムを開催したいと考えています。これについては掛塚屋台囃子保存会、今年で 50 周年を迎えるわけですが、その記念シンポジウムという形式をとっています。当日は 3 部構成で、第 1 部が祭囃子の演奏ということで、竜洋西小地区の全体の子どもを対象にやっています竜洋西小の 2 年生が演奏を行います。それから三社祭の礼祭のお囃子ということで横須賀の保存会の方、それから掛塚の屋台ばやしの方々となります。

第 2 部として記念式典、第 3 部として記念講演ということで、祭りの明日を考える、人口減少、少子高齢化の中でどうやって地元の祭りを存続させていくのかということで、谷部教授は山口大学の准教授ですが、この辺の民俗について非常に詳しく研究されていて、記念講演とシンポジウムのコーディネーターをお願いする予定です。パネリストはそれぞれの地域で活躍されている方ということです。

一つ非常に注目しているのが、なかなか地元の方だけでは祭りが成り立たない状況になっているため、逆にお金をいただいて参加型の祭り、来ていただいてそこに住んでいる方と一緒に構図をとってもらおう。それについては、保険代とか一緒に飲んだり食べたりするというので数千円お金をいただいて参加してもらおう、そういう取り組みをやっている方がいらっしゃるのです。そういう方にも来ていただいて、どういう形で存続させていけたらいいのか話し合う場を考えています。主催が保存会、教育委員会も共催ということで開催を予定しています。

<質疑・意見>

○文化財課の御案内でしたが俳句大会が 2 月 4 日にあります。まず事前投句をされたものの表彰式を行います。小中学生の賞に入った人達は表彰式が終わるとさっと帰ってしまうのです。60 人ぐらの席がぱっと空いてしまって、せっかくの選者の先生の講演がその空いた席では失礼になっ

てしまうので、選者の先生の講演だけでもお聞きいただけるととてもありがたいです。

○2月4日は文化振興センターで公立幼稚園とこども園の子どもが書いた絵画展もやっています。

○実施済主要事業内の奈良文化財研究所研修へ行かれるというのは、文化財課の職員の方が行かれたのですか。

○文化財課の職員が約1週間行ってきました。色々発掘現場へも行きながら研修をしたということです。まず帰ってきての一声が、磐田では記録を撮るのにデジタルで撮る時もありますが、正式にはフィルムカメラという固定観念でした。今なかなか現像できる所が無く、うちも浜松の業者に出してそこからまた東京に行ってという形でやっていますが、奈文研はもうデジタルカメラを使用しているということでした。今まで国とか文化庁では、後で改変されるということでなかなかデジタルの利用に前向きでは無かったですが、第一線でそういうものを使っているということがはっきりと分かり、その他色々な部分も含めて非常に勉強になったということで帰ってきました。

○今回の国分寺の整理に関するテーマを持ってではなくて、全体的なその文化財に関する部分を研修ということで行かれた訳ですね。

○そうです。発掘から報告書作成までの、いわゆるレベルアップという形の研修になっています。

7 協議事項

<質疑・意見>

なし

8 その他

<質疑・意見>

なし

9 次回教育委員会の日程確認

・定例教育委員会

日時：平成30年1月19日（金） 午後3時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

10 閉会